

## 若者会議の開催結果について

(政策推進局総合政策課)

本年度策定する次期総合戦略に、次代を担う若者の意見を反映させるため、29 歳以下の者を対象とした若者会議を以下のとおり開催した。

1 日 時 令和元年 8 月 4 日(日) 午前 11 時から午後 3 時まで

2 場 所 静岡県庁別館 20 階第 1 会議室

3 出席者

高校生	大学生	社会人	計
7 人 (18.4%)	22 人 (57.9%)	9 人 (23.7%)	38 人

4 提案内容

○「多文化共生～ガイコクかよ～」(1 班)

県内一次産業に外国人労働力を活用するため、若者の強みを活かした外国人向けのグリーンツーリズムの実施など外国人が分け隔てなく暮らせる社会を構築すべき。

○「観光から移住へ」(2 班)

テーマパークの設置や映画、ドラマのロケの誘致により、観光客の増大を図る。静岡の魅力を伝えリピーターを増やすことで、県外からの移住につなげるべき。

○「県政と県民をつなぐ情報共有の場づくり」(3 班)

国や県がどんな政策をしているのか、県民は知らない。スマホで一目でわかる広報など県政への興味を喚起する情報発信をすべき。

○「静岡の情報発信」(4 班)

SNS を活用した情報発信をすることで若者に静岡の魅力を伝えるべき。若者の主体性を高めるため、気軽に若者同士で意見を共有できる場を設置すべき。

○「他人事じゃない 私の静岡」(5 班)

行政と若者が相互に気軽に地域等で意見交換できる場を設けることで、人々との繋がりを広げ、若者と行政との距離を縮めるなど、若者の意見を行政に反映できる仕組みを作るべき。

○「熱狂とつながり」(6 班)

県内の観光資源の効果的な情報発信、若者が遊べる場の提供や、若者の挑戦を応援したい高齢者と、アイデアがある若者をマッチングするコミュニティを構築すべき。

課題

①若者の主体性 ②行政の情報発信、提供

この二つはつながっていると考えられる



背景

■静岡の持つ問題に関心のある人となない人とで二分化している

若者の声



・若者会議に来ている人は県の抱えている問題などに関心がある人がほとんどだったが、それは静岡の若者全体から見たら少数である。

・元々県政に関心の薄かった参加者も今回の若者会議では積極的に自分の意見を話しており、終了時には楽しかったと話するなど、このような場への参加に前向きな姿勢を示していた。

■行政が提供する場や情報と若者の主体性や知識レベルが合っていない

若者の声



・県が発信する情報が難しい言葉や表現でわかりづらい。

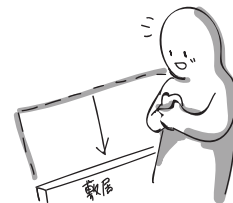
・家族や友人間で普段生活していて困っていることや不満に思っていることは話すのが何処に、誰に言ったらいいのかわからず、意見が小さなコミュニティのなかで止まってしまう。

・行政に対し敷居が高い印象があり、親しみやすさは薄い。

提案 1

行政が提供する「場」の敷居を下げる

※県民と行政とが情報共有や共創する場  
(例：県の運営する SNS、若者会議)



敷居を下げるとは？

若者会議のような場への若者の参加を促し、次の参加へ前向きな姿勢になってもらうためには、そのような場において、「楽しい」「新しい知見が得られた」「もっと学びたくなった」などの体験を参加者が得ることが大切なのではないか。

そのためには、現在の堅いイメージを払拭し、もっと行政・企業・学生それぞれの立場の人々が繋がれるような形式に変える必要があると考える。

<例>

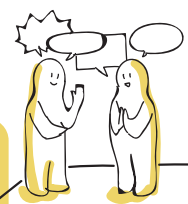
・場所 県庁などの行政機関ではなく、カフェなどの行きやすい場所にて開催

・時間 学校や仕事帰りにふらっと寄れるような平日の夕方などにする

・言葉 「会議」→「トーク会」のように堅い言葉をやめる。  
また話し合うテーマも「観光」→「私が休日にいきたい場所」など、身近に感じるものに工夫する。

・雰囲気 気軽さや明るさを感じる雰囲気作り

若者の言葉が行政に伝わり、共に考え共創していく形も重要である。そのためには若者と行政がフラットな立場であることが求められる。



提案2

「若者」による「若者」のための情報発信をする

静岡をよりよいものにするには、県政と対等な位置につくことで得られる、若者の意見や力が必要不可欠である。

なぜ「若者」が情報発信するのか？

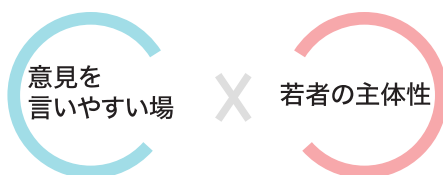
先程場の提供の仕方を提案したが、場の問題だけではない。若者が少しでも静岡の未来について興味をもたなければ、敷居が低い場であったとしても足を運ぶことはないだろう。敷居の低い場と若者の主体性のどちらも必要である。

若者に当事者意識をもたせ、主体性をあげるためには、若者自身が若者へ向けて発信することも効果的であると考ええる。

<例>

- ・ SNSの活用
- ・ 学校と提携して若者から情報発信をする。

若者が発信者になることで、他の若者は親近感を覚え、より身近なものとして捉えることができる。主体性がないのはどこか他人事に捉えているからである。当事者意識が芽生えれば、主体性も上がる。



将来を担う若者達が、積極的に動くことができれば、静岡をよりよくするための意見や企画が生まれるだろう。そのためには冒頭であげた二つの問題を解決しなければならない。

行政と若者が相互に歩み寄り、共に静岡の課題を解決し行動すれば、より明るい未来をつくることができる。



1班

## 外国人の労働問題



多文化共生!!

# ガイコクかよ!



私たち若者の強みは何?

柔軟性

英語理解

社会人の知識・理解

SNSの利用



提案

グロブライズ農業への外国人への活用

宿泊施設と体験型農業

## 製造業

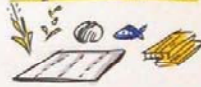


浜松のプラジル人 学校での国立

外国人差別

将来AIの仕事になるかも..?

## 第一次産業



第一次産業の後継者不足

外国人に対して 偏見の目



高齢者が多い

# 観光から移住の!

2019.8.4 若者会議



2班

## 1 観光に来してもらう。

静岡良いところ! 暮らしは満足!  
他県からの観光客  
県民  
そのためには一度来て貰う。

## 観光

- 市に生かして欲しいから、もっと情報発信。
- 作品などとコラボ  
ex ライフワーク
- 市独自の強みをつくる。

## 2 移住してもらう。

一度の観光だけではなく、住んでもらうためにはどうしよう?

## 3 他県にはない静岡の強みをつくる

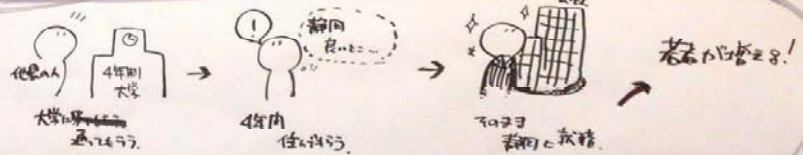
体験型のものをつくる  
ex. テリノスポーツ、ダートンク

- ex. 就労支援
- 言語支援の補助 (国庫補助)
- 地域格差是正 (空き地場所の土地代↑)
- 商業施設増

産後、子育て支援

教育施設を増やす

## 観光以外の案



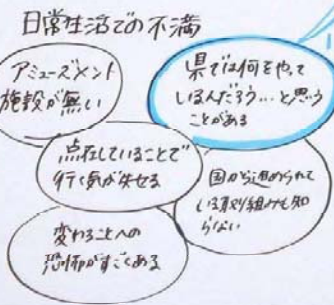


現状、問題点 3班

- 観光**
  - 観光資源が多い (富士山, 温泉)
  - 来日外国人 (多)
  - 遠方からの集客ができていない (バス)
- 人口減少**
  - 国全体で減っている (人々)
- 子育て**
- 産業**
  - 静岡を拠点にしている大企業がない
  - 企業の業種が少ない
- Uターン**

「外の人たちが  
分からないと意味がない!!!」

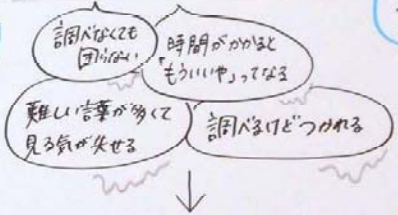
情報デザイン



県政と県民をつなぐ  
情報共有の場づくり

県政に対する興味がない!

Uターンは  
つながらず!



- ・ スマホで見て一目で分かる広告
- ・ インフルエンサーの活用
- ・ 井で調べたワードを指定してあげる
- ・ TVやイラストを組み込む
- ・ 情報共有のためのHPをつくる

Xナンバー: 4班E



4班 問題点

大学進学・就職による人口流出  
→若者が静岡の魅力を知らない? →だから外に行ってしまう?

若者に主体性がない

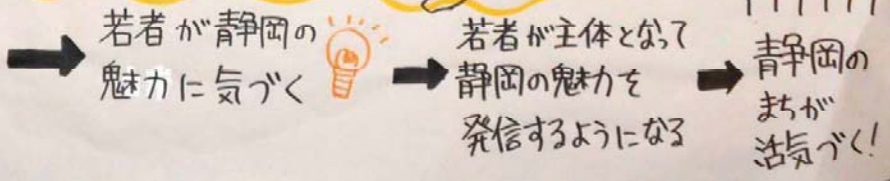
キーワード

- ・ SNS
- ・ 主体性

解決案

- ・ SNSで細かく発信する
- ・ 有名人に情報を発信してもらう
- ・ 学校と連携して若い人から発信する
- ・ 若者同士で話し合う機会を増やす

静岡の情報発信



# 静岡県未来について

5班

## 問題点



若者の意見を言う場はない...

みんな他人事じゃない...!

2-1  
2-2  
2-3  
2-4  
2-5  
2-6  
2-7  
2-8  
2-9  
2-10  
2-11  
2-12  
2-13  
2-14  
2-15  
2-16  
2-17  
2-18  
2-19  
2-20  
2-21  
2-22  
2-23  
2-24  
2-25  
2-26  
2-27  
2-28  
2-29  
2-30  
2-31  
2-32  
2-33  
2-34  
2-35  
2-36  
2-37  
2-38  
2-39  
2-40  
2-41  
2-42  
2-43  
2-44  
2-45  
2-46  
2-47  
2-48  
2-49  
2-50  
2-51  
2-52  
2-53  
2-54  
2-55  
2-56  
2-57  
2-58  
2-59  
2-60  
2-61  
2-62  
2-63  
2-64  
2-65  
2-66  
2-67  
2-68  
2-69  
2-70  
2-71  
2-72  
2-73  
2-74  
2-75  
2-76  
2-77  
2-78  
2-79  
2-80  
2-81  
2-82  
2-83  
2-84  
2-85  
2-86  
2-87  
2-88  
2-89  
2-90  
2-91  
2-92  
2-93  
2-94  
2-95  
2-96  
2-97  
2-98  
2-99  
2-100

### ① 受信発信

若者の若者のために...  
敷居をひく  
1つのまが当事者

# 私の静岡



SNS  
デジタル化

活用方法  
いろいろある

7-1  
7-2  
7-3  
7-4  
7-5  
7-6  
7-7  
7-8  
7-9  
7-10  
7-11  
7-12  
7-13  
7-14  
7-15  
7-16  
7-17  
7-18  
7-19  
7-20  
7-21  
7-22  
7-23  
7-24  
7-25  
7-26  
7-27  
7-28  
7-29  
7-30  
7-31  
7-32  
7-33  
7-34  
7-35  
7-36  
7-37  
7-38  
7-39  
7-40  
7-41  
7-42  
7-43  
7-44  
7-45  
7-46  
7-47  
7-48  
7-49  
7-50  
7-51  
7-52  
7-53  
7-54  
7-55  
7-56  
7-57  
7-58  
7-59  
7-60  
7-61  
7-62  
7-63  
7-64  
7-65  
7-66  
7-67  
7-68  
7-69  
7-70  
7-71  
7-72  
7-73  
7-74  
7-75  
7-76  
7-77  
7-78  
7-79  
7-80  
7-81  
7-82  
7-83  
7-84  
7-85  
7-86  
7-87  
7-88  
7-89  
7-90  
7-91  
7-92  
7-93  
7-94  
7-95  
7-96  
7-97  
7-98  
7-99  
7-100

集まる場所  
がない

### ② SNS, 教育

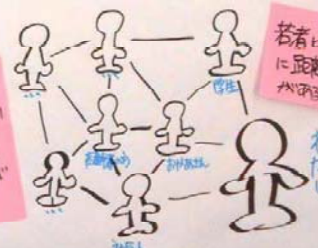


ユニティ = 若い若者会議 - 継続 - 自由参加 - 地域ごと

やわらかい場所

バラバラなものをつなぐ場所

### ③ 人のつながりをつなぐ



若者と行政に距離がない

あたる

# 静岡県の未来について 19.8.4 - 静岡若者会議

チーム: ドンドン 6班

6班

## 熱狂と繋がり



熱狂

×

繋がり

=



### 観光資源

県内の資源の良さを... 若者が遊ぶ場所を作る... 働く場や観光が盛り上がる

### コミュニティ作り

高齢者と若者のマッチング... 共働きがしやすい... 地域行事は助け合う

### スポーツ

3-1を作る... 周辺の地域活性化... 具全体の盛り上がり

楽しい稼げる